

## 高林の連窓

浜松駅から車で10分程にある夫婦と子供2人の4人家族のための住宅の計画である。敷地は南側に住宅、西側は駅前繁華街から北へ直進した通り、北東側は川沿の遊歩道で囲まれた三角地となっている。前面道路である通りは抜け道ともなるため車通りが多く、反対に遊歩道は小学生の通学路であり、近隣住民の散歩道や通勤路等日常的に利用されている。通り沿いには住宅だけではなく店舗や医院等様々な用途の建築が混在し、遊歩道には川沿いの桜の木が覆いかぶさりゆったりとした時間が流れている。

この性質の違う通りと遊歩道が交差している環境に向き合うにはどのような建ち方がふさわしいか考えた。

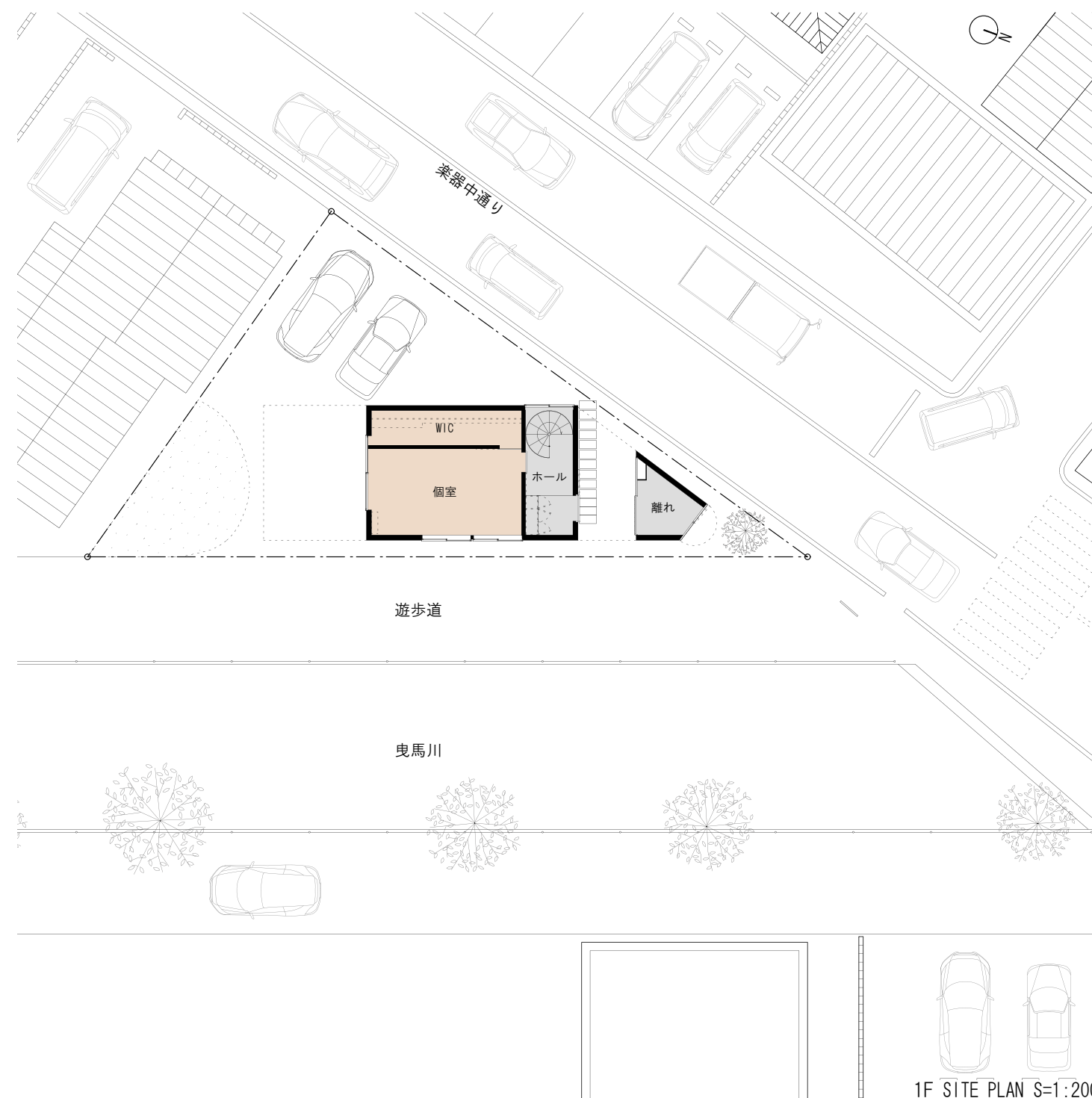
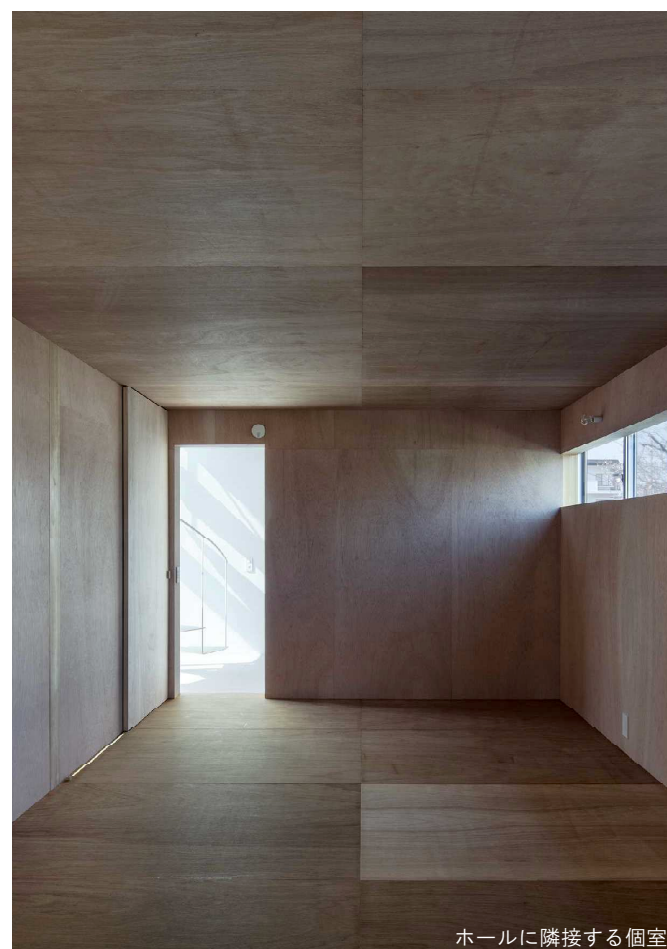
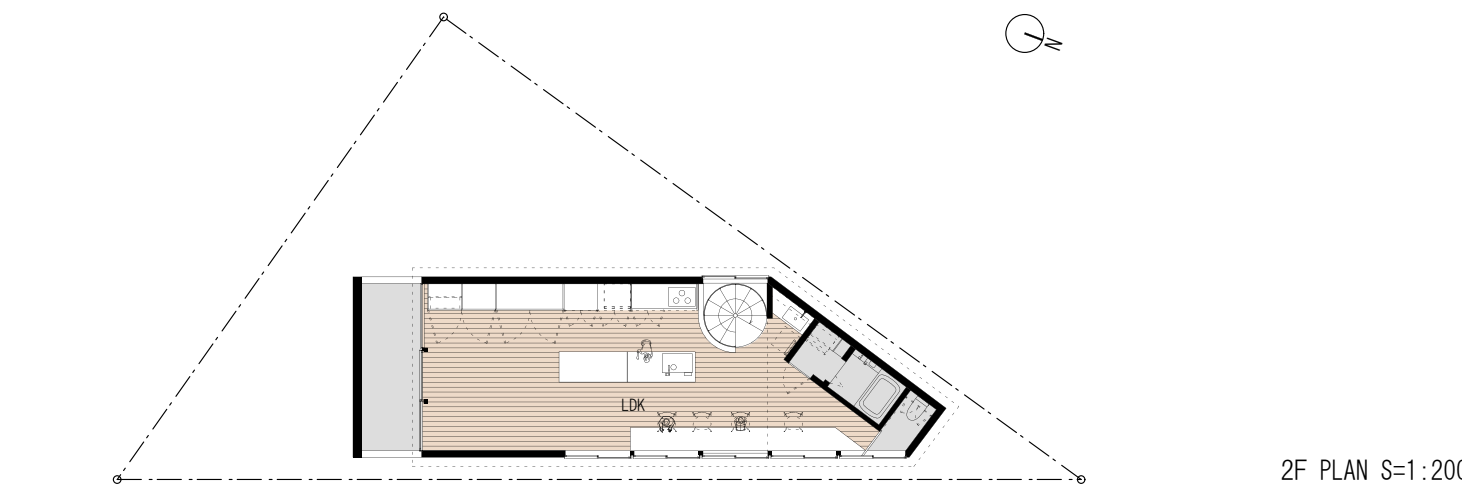
まずは往来の激しい通りや遊歩道から距離をとるため、長い時間を過ごすリビング空間を持ち上げ、通りからも遊歩道が感じられるよう抜けをつくった。1階にはボリュームを抑えるため個室、ホール、離れを配置し水廻りは2階へ配置した。次に通り側は既成サイズの引違窓3本を使用した縦の連窓とし、遊歩道側は5本の引違窓を使用した横の連窓とした。2階の南の開口は隣地の状況を考慮し前面を壁で塞ぎ、上部と左右の開口から光を採りこんでいる。

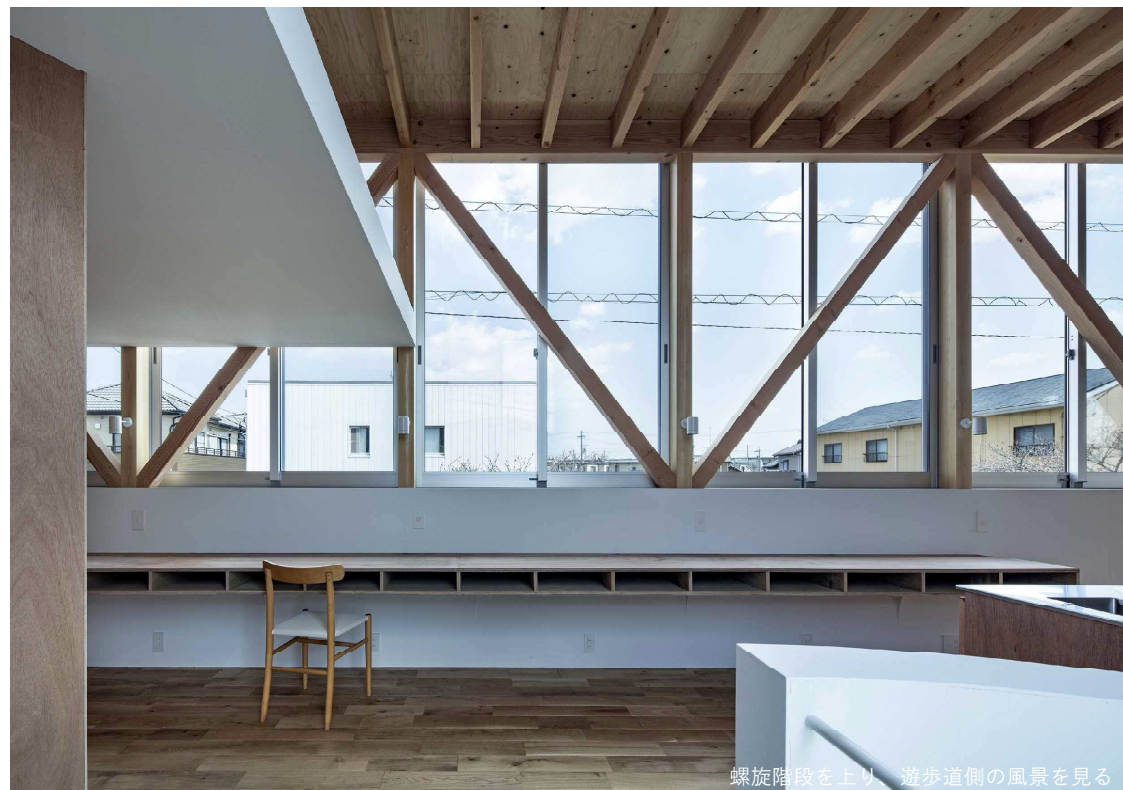
縦に並んで断面を横断する引違の連窓は、通り側から建物の規模や用途を誤読させ、横に並んで空間を横断する連窓は、トラスとなっている2階の構造を現し上部を開放し、外部との程よい距離感をとっている。

エントランスホールから螺旋階段を上がりきると目の前に川の桜越しに東側の景色が広がる。そこからさらにロフトへ上がると東に蛇行してく川に沿った遊歩道と南へのひる通りを同時に眺め感じることができる。

このように縦と横の連窓により周辺環境との関係を調整し心地良い住空間となることを目指した。







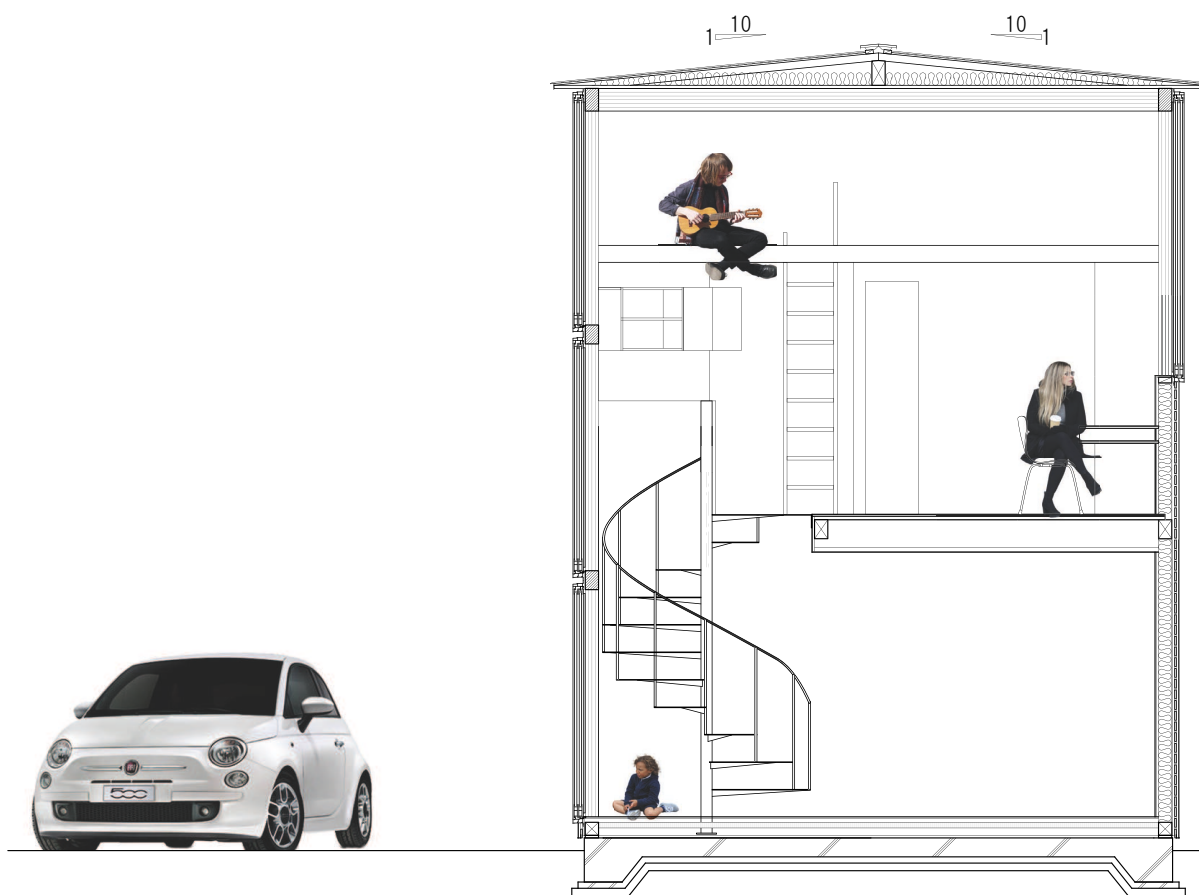
螺旋階段を上り、遊歩道側の風景を見る



ロフトから遊歩道、LDK、通りを見る



LDKから通りを見る



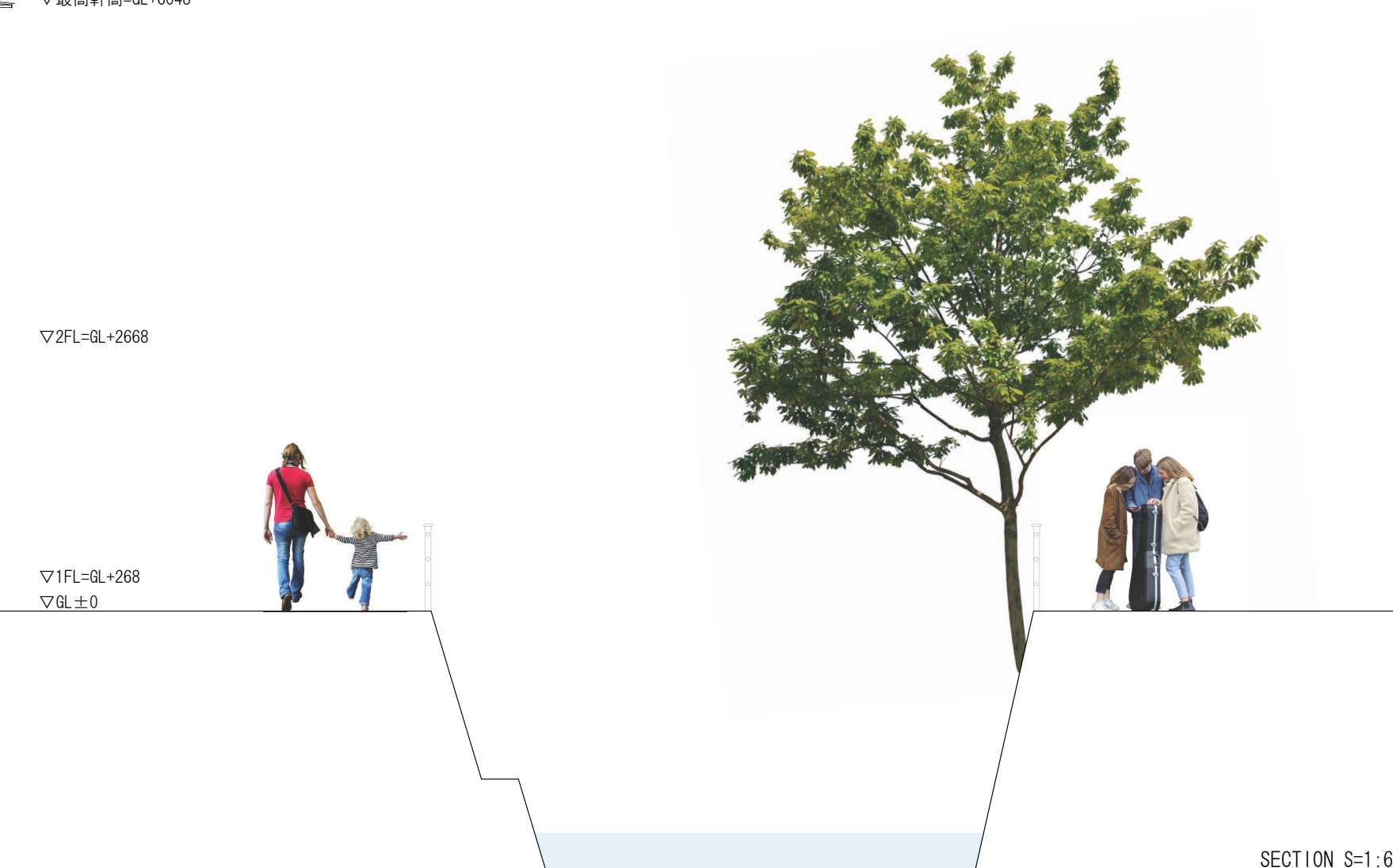
▽最高高さ=GL+6401

▽最高軒高=GL+6048

▽2FL=GL+2668

▽1FL=GL+268

▽GL±0



SECTION S=1:60



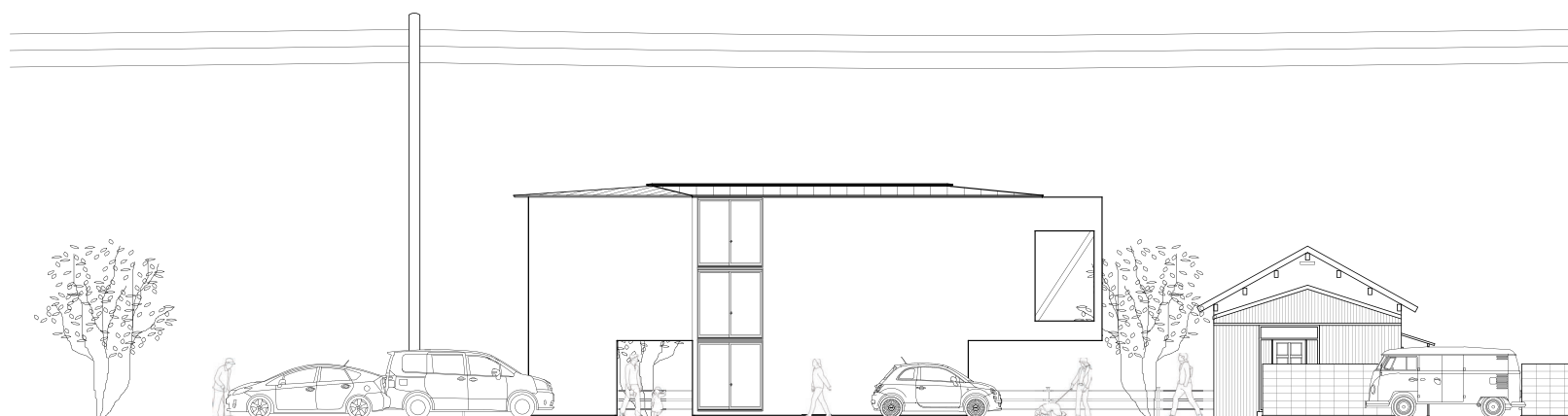
曳馬川から遊歩道越しの東側立面



通りからの北側夕景通りと遊歩道が交わる



通りからの西側夕景ポーチを抜けて曳馬川沿いの桜が見える



WEST ELEVATION S=1:200

所在地：浜松市中区高林  
 竣工年月：2021年3月  
 計画区域：市街化区域  
 用途地域：第一種住居地域  
 用途：住宅  
 構造：木造  
 規模：地上2階  
 敷地面積：156.04㎡  
 延床面積：90.89㎡  
 建物高さ：6,401mm  
 屋根仕上：ガルバリウム鋼板  
 外壁仕上：左官  
 内壁仕上：ラワン合板塗装  
 内床仕上：オーク  
 内床仕上：フレキシブルボード